

健康

高森町の社会保障費と健康課題について

平成30年度から国民健康保険や介護保険などの社会保障に係る保険料が改定され、私たちの生活に大きく影響し始めています。実はこれら社会保障には私たちの健康状態が大きく関わっています。今回は高森町の健康課題と社会保障費について考えてみましょう。

年々増え続ける
保険料の負担

高森町の国民健康保険の医療費は平成28年度8億1000万円でした。また一人あたりの医療費は35万5000円で平成25年度に比べておよそ1万4000円も増加しています。そのため、これに伴い、保険料が上がる可能性があります。

病気の重症化と
医療費

特に医療費がかかる病気の中で、予防により医療費を抑えられる病気には脳血管疾患・虚血性心疾患・糖尿病性腎症など動脈硬化から起こる血管内皮障害が挙げられますが、動脈硬化は急に起きるわけではなく、高血圧や糖尿病など生活習慣病のコントロール不良や放置から引き起こされます。糖尿病を例に重症化とそれに伴う医療費をみてみましょう。

糖尿病で治療を始めた場合、内服治療のみでコントロールできた場合は年間およそ17万円程度の治療費と言われます。しかし、数値が悪化していき、インスリン注射が必要になると更に年間50万円かかります。これらの治療でもコントロールできていないと血管が傷み脳卒中や心筋梗塞・腎不全などを引き起こし治療や入院でおよそ200〜500万円かかると言われます。早期発見早期治療ができた場合とそうでない場合では1年間かかる医療費が数百万円も変わってくるのです。またこれらの疾患は麻痺が残ったり、治療や体への負担から仕事ができなくなる可能性もあり、収入への影響も大きいのです。



予防には定期的な
健診が大事！

重症化予防の重要性については前項にて説明しましたが、生活習慣病や血管内皮障害の多くが自覚症状がないまま進行するため、健診等で血液データなどを確認しないと気づかないまま

重症化していく恐れがあります。そのため最低でも年に1回は健診を受けて血液データの変化を確認し、必要に応じて生活習慣の改善や治療を開始する。自己判断で治療を中断しないことが重要になります。

国も予防の重要性について注目をしており、特定健診の受診率や血液データの改善状況などで国が定めた目標値をクリアした市町村にはごほうびとして支援金を配布する制度（保険者努力支援制度）を開始しています。まずは住民健診を受けて、自分の体を確認するところから始めてみませんか。

平成30年度の住民健診の日程などについては次号でお知らせします。

町の生活習慣病の 治療者数の割合	平成 25年度	平成 28年度
脳血管疾患 (脳梗塞・脳出血等)	9.4%	12.6%
虚血性心疾患 (狭心症・心筋梗塞など)	13.2%	12.8%
糖尿病性腎不全	1.7%	3.3%

健康推進課 健康推進係
☎62-1111
内線 124

子育て

子育て支援センター
活動状況報告

★ベビーマッサージの会

2月9日(金)

朝の冷え込みは厳しかったのですが、暖かくしたセンター内で裸ん坊になった赤ちゃんたちはお母さんにマッサージをしてもらって、とても気持ちよさそうでした。「肌に触れる時間をつくることの大切さを知りました。ゆったりした時間を家でもつくりたいです」「やっと参加出来ました。午前中にやるとぐっすり眠れそう！ お風呂でもやってみます」と、たいへん好評でした。



★リズムののって遊ぶの会

2月20日(火)

節分にちなんで♪おにのパンツを振り付きで歌った後に「おとえほん」を読み聞かせしました。そしてまた、♪おにのパンツに合わせて色々な打楽器(マラカス・鈴・

多子世帯の保育料 支援します！

高森町では、世帯の状況に応じて保育料の軽減を行っております。平成30年度は、下記の対象児童で第3子以降の場合、平成30年4月分から保育料が無料になります。

【対象児童】

- ① 保育園、認定こども園を利用する保育・教育認定を受けた子どもであること。
- ② 18歳未満の児童を3人以上扶養している家庭で、3番目以降の児童が保育所等を利用する場合。ただし、下記は例外とします。

- 教育認定(1号) 5階層
市町村民税所得割額 211,201円以上
 - 保育認定(2・3号) 7・8階層
市町村民税所得割額 301,001円以上
- 詳細は、お問い合わせください。

住民福祉課 福祉係 ☎0967-62-1111 内線133



ドレミパイプなどの音を鳴らしました。それからペットボトルマラカスや紙筒ギロ、トレー琴など思い思いに作り、最後にもう一度♪おにのパンツを歌いながら自分の作った楽器を鳴らしました。「前回作ったマラカスは家でもよく遊んでいます」「身の回りにある物で色々な楽器ができることを教えてもらい安全で愛着もわくのであるべく手作りをしたいと思います」と参加者は喜んでいました。

子育て支援センター
☎62-13311

このほか、定例の「おはなし会」「わらべうたの会」も行い、沢山の親子さん楽しんで貰いました。5月は、定例のおはなし会・わらべうたの会以外に、「みんなであかけよう！の会」「電気教室」を予定しています。お楽しみに！

